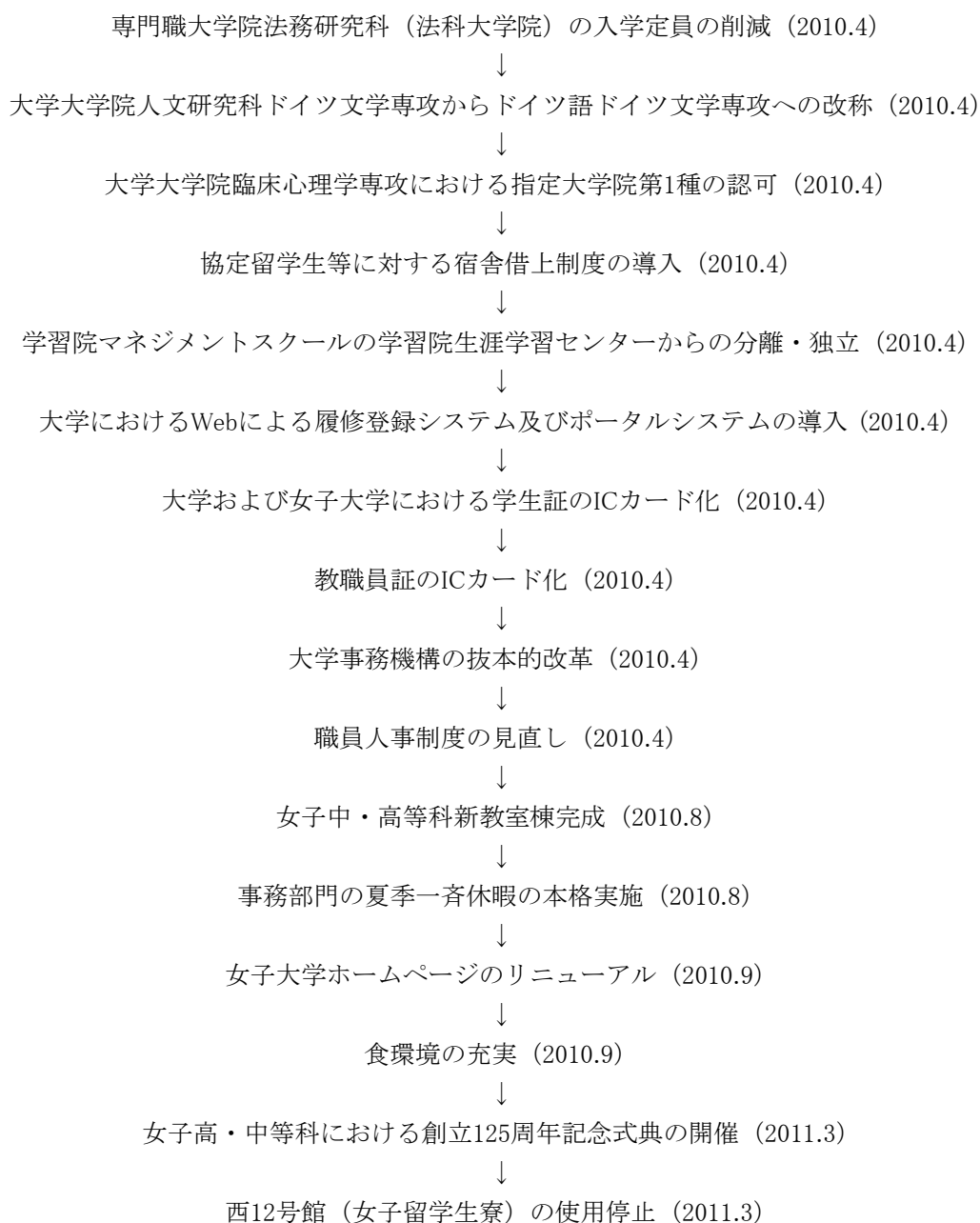


X 学習院新長期計画等実施事業総括表・沿革・平成23年度基礎資料

## 1. 『学習院新長期計画』実施事業総括表

\*\*\*\*\*平成22年度（2010年度）\*\*\*\*\*



\*\*\*\*\*

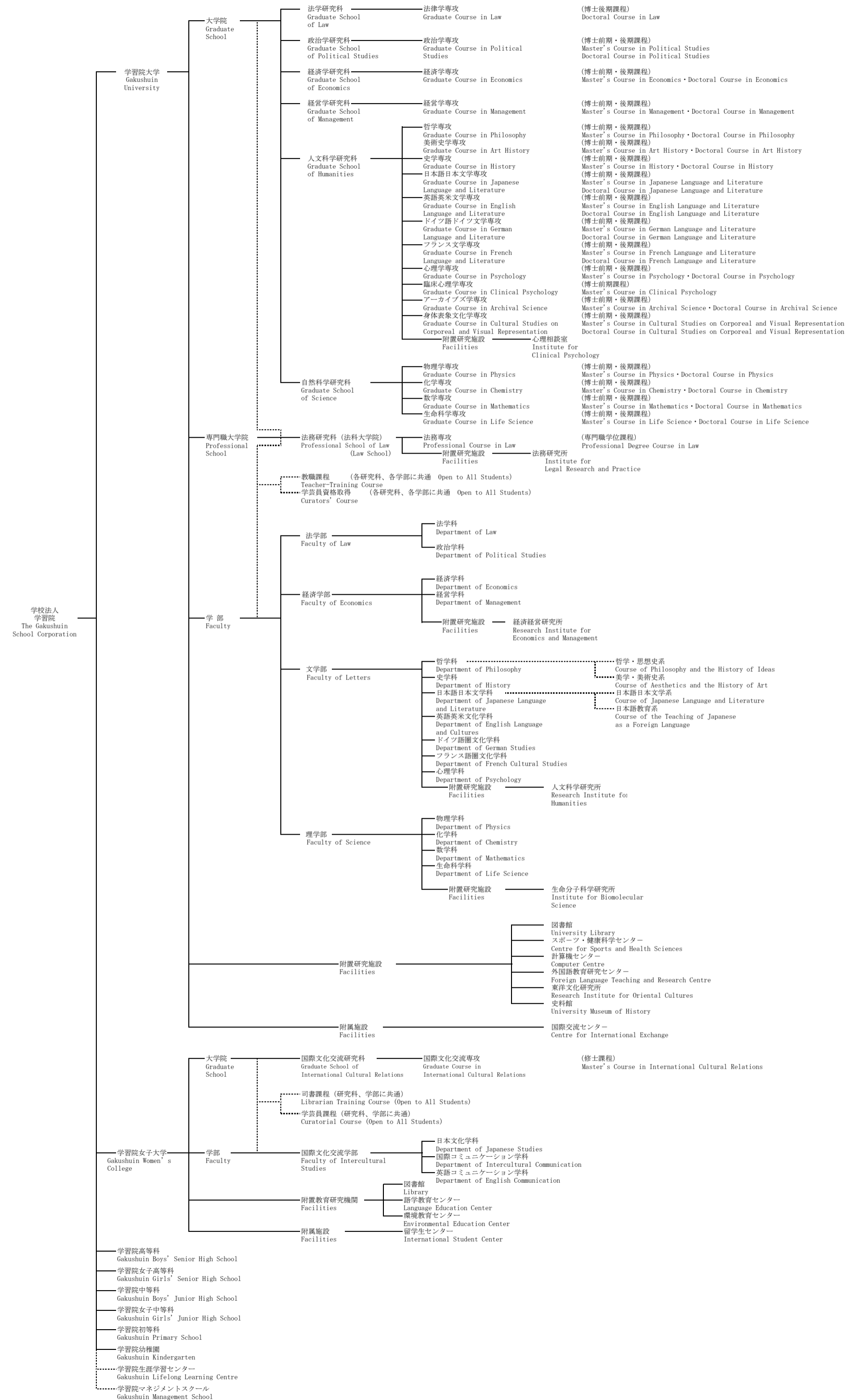
## 2. 学習院の沿革

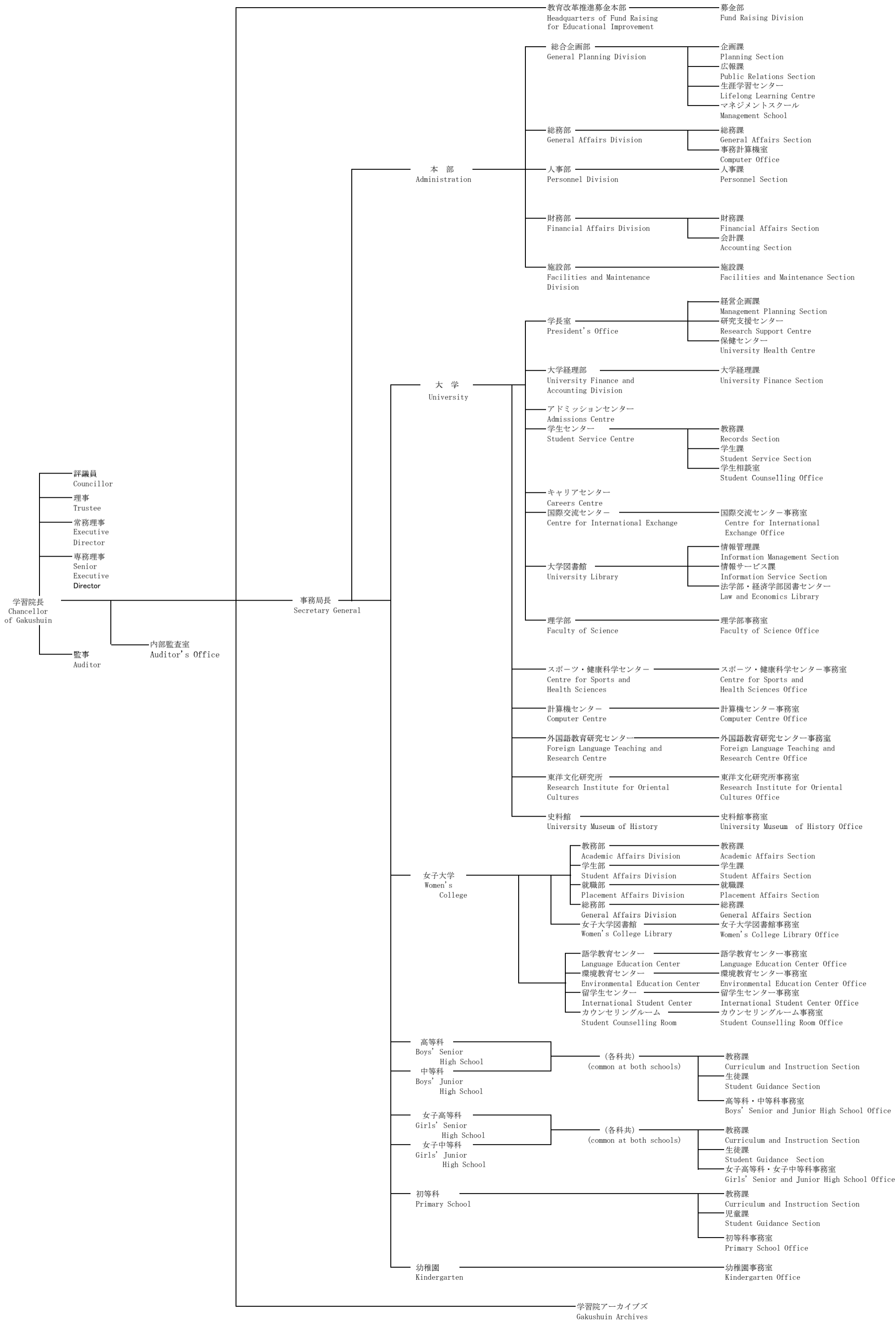
弘化 4. 3 (1847)	京都御所日御門前に学習院開講する。	5	中等科(1・2年)は都下小金井に移転し、授業を始める。
嘉永 2. 4 (1849)	「学習院」の勅額下賜される。		
明治元. 4 (1868)	京都学習院は大学寮代と改称される。	22. 3 (1947)	学習院・女子学習院に関する官制廃止される。
9. 1 (1876)	華族会館において建学の議おこる。	22. 4 (1947)	財団法人学習院による新しい経営が始まり、学習院と女子学習院は一体として私立学校となる。新制の初等科・中等科・女子中等科を開設し、初等科は男女共学を実施する。
10. 2 (1877)	華族学校学則制定。		
10	開業式挙行、天皇皇后親臨、勅諭・令旨を賜わる。あらためて「学習院」の勅額を下賜される(神田錦町)。	23. 4 (1948)	新制の高等科・女子高等科を開設する。
17. 4 (1884)	宮内省所轄の官立学校となる。	5	女子教養学園を設置する。
18. 9 (1885)	華族女学校を創設する(四谷区尾張町)。	24. 4 (1949)	新制の大学を開設する(文政学部=文学科・哲学科・政治学科、理学部=物理学科・化学科)。中等科は戸山町に移転する。
21. 8 (1888)	学習院は麴町区三年町(虎ノ門)の旧工部大学校跡に移転する。	25. 3 (1950)	旧制高等科を廃止する。
22. 4 (1889)	学習院輔仁会が発足する。	4	短期大学部を開設する(文学科)。
7	華族女学校は麴町区永田町に移転する。	26. 3 (1951)	学校法人学習院となる。
23. 9 (1890)	学習院は四谷区尾張町に移転する。	4	短期大学部に家庭生活科を増設する。
26. 10 (1893)	別科を大学科と改称する。	27. 3 (1952)	女子教養学園を廃止する。
27. 4 (1894)	華族女学校に幼稚園を設ける(昭和19年保育休止)。	4	大学文政学部を廃し、政経学部と文学部を設ける(政経学部=政治学科・経済学科、文学部=哲学科・文学科)。
28. 11 (1885)	華族女学校の同窓会として常磐会が発足する。	5	学習院東洋文化研究所を設置する。
38. 9 (1905)	大学科を廃止する。	28. 4 (1953)	大学院人文科学研究科と自然科学研究科修士課程を設置する(人文科学研究科=哲学専攻・国文学専攻、自然科学研究科=物理学及び化学専攻)。
39. 4 (1906)	華族女学校を学習院に併合し、華族女学校は学習院女学部と改称する。		短期大学部文学科を文科と改称する。
41. 8 (1908)	北豊島郡高田村(目白)に移転する(初等学科と女学部は旧位置)。	6	短期大学部を女子短期大学と改称する。
45. 7 (1912)	沼津游泳場を設置する。	32. 4 (1957)	大学文学部文学科を国文学科・イギリス文学科・ドイツ文学科・フランス文学科に改組し、大学院人文科学研究科修士課程にイギリス文学専攻・ドイツ文学専攻・フランス文学専攻を増設する。
大正 7. 8 (1918)	女学部は青山に移転する。		
9	女学部は女子学習院となる。	8	中等科は目白に移転する。
8. 9 (1919)	学習院の初等学科・中等学科・高等学科を初等科・中等科・高等科に改める。	36. 4 (1961)	大学文学部に史学科を増設する。大学院自然科学研究科博士課程を設置する(物理学専攻・化学専攻)。大学院自然科学研究科修士課程を変更する(物理学専攻・化学専攻)。
10. 1 (1921)	学習院の同窓会として桜友会が発足する。		
昭和 3. 10 (1928)	学習院開校五十周年記念式を挙げる。	38. 4 (1963)	幼稚園を開園する。大学理学部に数学科を増設する。
10. 11 (1935)	女子学習院開校五十年記念式を挙げる。	38. 10 (1963)	学習院創立八十五周年記念式典を挙げる。
20. 4 (1945)	空襲により目白校地を焼失する。		
5	空襲により青山の女子学習院、四谷の初等科を焼失する。		
12	学習院学制・女子学習院学制を改正し、一般の子女に門戸を開放する。		
21. 4 (1946)	女子学習院は牛込区戸山町に移り、授業を始める。		

39. 4 (1964)	大学法学部(法学科・政治学科)、経済学部(経済学科)を設置する。政経学部は翌年3月で廃止となる。	3. 4 (1991)	大学文学部国文学科を日本語日本文学科と改称する。 大学院人文科学研究科国文学専攻を日本語日本文学専攻と改称する。
40. 4 (1965)	大学院人文科学研究科修士課程に史学専攻を増設する。 大学院人文科学研究科博士課程を設置する(哲学・史学・国文学・イギリス文学・ドイツ文学・フランス文学の各専攻)。	10. 4 (1998)	女子短期大学を改組して女子大学を開設する(国際文化交流学部=日本文化学科・国際コミュニケーション学科)。
42. 4 (1967)	大学院自然科学研究科修士課程に数学専攻を増設する。	11. 4 (1999)	学習院生涯学習センターを設置する。
44. 4 (1969)	大学院自然科学研究科博士課程に数学専攻を増設する。 女子短期大学文科を廃止して人文学科を設置する。	5	大学開学50周年記念式典を挙げる。
47. 4 (1972)	大学院法学研究科修士課程法律学専攻を設置する。	13. 5 (2001)	女子短期大学を廃止する。
49. 4 (1974)	大学経済学部経営学科を増設する。	14. 12 (2002)	学習院創立百二十五周年記念式典を挙げる。
6	大学計算機センターを設置する。	16. 4 (2004)	大学に専門職大学院として法務研究科(法科大学院)法務専攻を、女子大学に大学院国際文化交流研究科修士課程国際文化交流専攻を設置する。
50. 2 (1975)	大学史料館を設置する。	17. 4 (2005)	大学大学院法学研究科法律学専攻博士前期課程を廃止する。
4	大学文学部に心理学科を増設する。 大学文学部イギリス文学科を英米文学科と改称する。	18. 4 (2006)	女子大学国際文化交流学部英語コミュニケーション学科を増設する。
52. 10 (1977)	明治10年より数えて創立100周年を迎える。	19. 4 (2007)	大学文学部ドイツ文学科・フランス文学科をドイツ語圏文化学科・フランス語圏文化学科と改称する。
53. 4 (1978)	大学院経営学研究科修士課程経営学専攻を設置する。	20. 4 (2008)	大学院人文科学研究科(博士前・後期課程)に美術史学専攻、アーカイブズ学専攻、身体表象文化学専攻を増設する。
10	学習院創立百周年記念式典を挙げる。		大学院自然科学研究科(博士前・後期課程)に生命科学専攻を増設する。 大学文学部英米文学科を英語英米文化学科と改称する。
54. 4 (1979)	大学院政治学研究科修士課程政治学専攻を設置する。 大学院経済学研究科修士課程経済学専攻を設置する。	21. 4 (2009)	大学院人文科学研究科博士前期課程に臨床心理学専攻を増設する。
55. 4 (1980)	大学院人文科学研究科修士課程に心理学専攻を増設する。	21. 4 (2009)	大学理学部に生命科学科を増設する。 大学院人文科学研究科イギリス文学専攻を英語英米文学専攻に改称する。
56. 4 (1981)	大学院政治学研究科に博士課程を設置する。	22. 4 (2010)	大学院人文科学研究科ドイツ文学専攻をドイツ語ドイツ文学専攻に改称する。
57. 4 (1982)	大学院政治学研究科・人文科学研究科・自然科学研究科の修士課程・博士課程をそれぞれ博士前期課程・博士後期課程に変更する。 大学院人文科学研究科博士後期課程に心理学専攻を増設する。	23. 3 (2011)	女子中・高等科創立125周年記念式典を挙げる。
61. 4 (1986)	大学院法学研究科・経営学研究科に博士後期課程を設置し、両研究科の修士課程を博士前期課程に変更する。		
平成 2. 4 (1990)	大学院経済学研究科に博士後期課程を設置し、同研究科の修士課程を博士前期課程に変更する。		

### 3. 学習院の組織

学校法人学習院が設置する各学校の教育・研究組織表 (平成23年6月1日 現在)  
Educational System of the Gakushuin School Corporation





#### 4. 基礎資料

##### (1) 平成23年度予算・補正予算書

### 平成23年度 収支予算総括表

学校法人学習院

平成23年3月

(単位 千円)

#### I 資金収支予算

科 目	23年度予算 A	前 年 度		前年度比較 (%)	
		当初予算 B	補正予算 C	増・減(△) A/B	増・減(△) A/C
(1) 収入の部					
学生生徒等納付金収入	14,515,270	14,303,640	14,561,190	1.5	△ 0.3
手数料収入	709,780	711,230	711,230	△ 0.2	△ 0.2
寄付金収入	547,320	584,160	584,160	△ 6.3	△ 6.3
補助金収入	2,208,410	2,224,240	2,227,240	△ 0.7	△ 0.8
資産運用収入	354,380	404,390	404,390	△ 12.4	△ 12.4
資産売却収入	200,000	798,580	798,580	△ 75.0	△ 75.0
事業収入	243,900	241,380	241,380	1.0	1.0
雑収入	280,920	335,190	413,920	△ 16.2	△ 32.1
前受金収入	2,678,430	2,667,530	2,667,530	0.4	0.4
その他の収入	503,660	556,340	2,523,130	△ 9.5	△ 80.0
資金収入調整勘定	△ 2,667,530	△ 2,668,770	△ 2,973,850	0.0	△ 10.3
前年度繰越支払資金	9,789,650	9,043,110	7,989,110	8.3	22.5
収入の部合計	29,364,190	29,201,020	30,148,010	0.6	△ 2.6

(2) 支出の部					
人件費支出	10,821,530	10,754,430	10,758,370	0.6	0.6
教育研究経費支出	4,162,470	4,418,830	4,600,870	△ 5.8	△ 9.5
管理経費支出	1,070,350	1,111,650	1,132,650	△ 3.7	△ 5.5
借入金等利息支出	30,330	42,830	42,830	△ 29.2	△ 29.2
借入金等返済支出	683,530	83,730	83,730	716.4	716.4
施設関係支出	2,012,600	3,199,000	2,235,490	△ 37.1	△ 10.0
設備関係支出	443,090	1,030,160	969,240	△ 57.0	△ 54.3
資産運用支出	1,800,000	2,300,360	2,300,360	△ 21.8	△ 21.8
その他の支出	224,160	162,220	577,370	38.2	△ 61.2
予備費	385,550	476,540	476,540	△ 19.1	△ 19.1
資金支出調整勘定	△ 227,900	△ 337,470	△ 345,700	△ 32.5	△ 34.1
次年度繰越支払資金	7,958,480	5,958,740	7,316,260	33.6	8.8
支出の部合計	29,364,190	29,201,020	30,148,010	0.6	△ 2.6

## Ⅱ 消費収支予算

(単位 千円)

科 目	23年度予算 A	前 年 度		前年度比較 (%)	
		当初予算 B	補正予算 C	増・減(△) A/B	増・減(△) A/C
(1) 消費収入の部					
学生生徒等納付金	14,515,270	14,303,640	14,561,190	1.5	△ 0.3
手数料	709,780	711,230	711,230	△ 0.2	△ 0.2
寄付金	647,250	668,080	668,080	△ 3.1	△ 3.1
補助金	2,208,410	2,224,240	2,227,240	△ 0.7	△ 0.8
資産運用収入	354,380	404,390	404,390	△ 12.4	△ 12.4
事業収入	243,900	241,380	241,380	1.0	1.0
雑収入	280,920	335,190	413,920	△ 16.2	△ 32.1
帰属収入合計	18,959,910	18,888,150	19,227,430	0.4	△ 1.4
基本金組入額合計	△ 3,985,990	△ 4,153,420	△ 3,128,990	△ 4.0	27.4
消費収入の部合計	14,973,920	14,734,730	16,098,440	1.6	△ 7.0

(2) 消費支出の部					
人件費	10,482,850	10,450,580	10,454,520	0.3	0.3
教育研究経費	6,499,750	6,869,220	7,051,260	△ 5.4	△ 7.8
管理経費	1,140,310	1,162,750	1,183,750	△ 1.9	△ 3.7
借入金等利息	30,330	42,830	42,830	△ 29.2	△ 29.2
資産処分差額	0	51,820	51,820	—	—
予備費	271,860	286,510	286,510	△ 5.1	△ 5.1
消費支出の部合計	18,425,100	18,863,710	19,070,690	△ 2.3	△ 3.4

当年度消費収支超過額	△ 3,451,180	△ 4,128,980	△ 2,972,250	△ 16.4	16.1
前年度繰越消費収支超過額	△ 8,760,610	△ 7,844,930	△ 7,681,210	11.7	14.1
翌年度繰越消費収支超過額	△ 12,211,790	△ 11,973,910	△ 10,653,460	2.0	14.6

### 参 考

翌年度繰越消費収支超過額	△ 12,211,790	△ 11,973,910	△ 10,653,460	2.0	14.6
基本金未組入額	2,408,358	2,766,640	3,076,613	△ 13.0	△ 21.7
要 処 理 資 産	14,620,148	14,740,550	13,730,073	—	—

主要分析比率(%)			
学生生徒等納付金 / 帰属収入	76.56	75.73	75.73
補助金 / 帰属収入	11.65	11.78	11.58
人件費 / 消費支出	56.89	55.40	54.82
教育研究経費 / 消費支出	35.28	36.42	36.97
管理経費 / 消費支出	6.19	6.16	6.21
人件費 / 学生生徒等納付金	72.22	73.06	71.80

平成 23 年度 収支補正予算総括表

学校法人学習院

平成23年7月

(単位 千円)

I 資金収支予算

科 目	平成 23 年度			前 年 度	
	当初予算	補正額	補正予算	当初予算	補正予算
(1) 収入の部					
学生生徒等納付金収入	14,515,270	495,320	15,010,590	14,303,640	14,561,190
手数料収入	709,780	0	709,780	711,230	711,230
寄付金収入	547,320	0	547,320	584,160	584,160
補助金収入	2,208,410	0	2,208,410	2,224,240	2,227,240
資産運用収入	354,380	0	354,380	404,390	404,390
資産売却収入	200,000	0	200,000	798,580	798,580
事業収入	243,900	0	243,900	241,380	241,380
雑収入	280,920	0	280,920	335,190	413,920
前受金収入	2,678,430	0	2,678,430	2,667,530	2,667,530
その他の収入	503,660	547,420	1,051,080	556,340	2,523,130
資金収入調整勘定△	2,667,530	△ 501,910	△ 3,169,440	△ 2,668,770	△ 2,973,850
前年度繰越支払資金	9,789,650	646,830	10,436,480	9,043,110	7,989,110
収入の部合計	29,364,190	1,187,660	30,551,850	29,201,020	30,148,010

(2) 支出の部					
人件費支出	10,821,530	0	10,821,530	10,754,430	10,758,370
教育研究経費支出	4,162,470	54,410	4,216,880	4,418,830	4,600,870
管理経費支出	1,070,350	0	1,070,350	1,111,650	1,132,650
借入金等利息支出	30,330	0	30,330	42,830	42,830
借入金等返済支出	683,530	0	683,530	83,730	83,730
施設関係支出	2,012,600	0	2,012,600	3,199,000	2,235,490
設備関係支出	443,090	0	443,090	1,030,160	969,240
資産運用支出	1,800,000	0	1,800,000	2,300,360	2,300,360
その他の支出	224,160	215,840	440,000	162,220	577,370
予備費	385,550	0	385,550	476,540	476,540
資金支出調整勘定△	227,900	△ 3,290	△ 231,190	△ 337,470	△ 345,700
次年度繰越支払資金	7,958,480	920,700	8,879,180	5,958,740	7,316,260
支出の部合計	29,364,190	1,187,660	30,551,850	29,201,020	30,148,010

## Ⅱ 消費収支予算

(単位 千円)

科 目	平成 23 年度			前 年 度	
	当初予算	補正額	補正予算	当初予算	補正予算
(1) 消費収入の部					
学生生徒等納付金	14,515,270	495,320	15,010,590	14,303,640	14,561,190
手数料	709,780	0	709,780	711,230	711,230
寄付金	647,250	0	647,250	668,080	668,080
補助金	2,208,410	0	2,208,410	2,224,240	2,227,240
資産運用収入	354,380	0	354,380	404,390	404,390
事業収入	243,900	0	243,900	241,380	241,380
雑収入	280,920	0	280,920	335,190	413,920
帰属収入合計	18,959,910	495,320	19,455,230	18,888,150	19,227,430
基本金組入額合計	△ 3,985,990	0	△ 3,985,990	△ 4,153,420	△ 3,128,990
消費収入の部合計	14,973,920	495,320	15,469,240	14,734,730	16,098,440

(2) 消費支出の部					
人件費	10,482,850	0	10,482,850	10,450,580	10,454,520
教育研究経費	6,499,750	54,410	6,554,160	6,869,220	7,051,260
管理経費	1,140,310	0	1,140,310	1,162,750	1,183,750
借入金等利息	30,330	0	30,330	42,830	42,830
資産処分差額	0	0	0	51,820	51,820
予備費	271,860	0	271,860	286,510	286,510
消費支出の部合計	18,425,100	54,410	18,479,510	18,863,710	19,070,690

当年度消費収支超過額	△ 3,451,180	440,910	△ 3,010,270	△ 4,128,980	△ 2,972,250
前年度繰越消費収支超過額	△ 8,760,610	86,340	△ 8,674,270	△ 7,844,930	△ 7,681,210
翌年度繰越消費収支超過額	△ 12,211,790	527,250	△ 11,684,540	△ 11,973,910	△ 10,653,460

### 参 考

翌年度繰越消費収支超過額	△ 12,211,790	527,250	△ 11,684,540	△ 11,973,910	△ 10,653,460
基本金未組入額	2,408,358	0	2,408,358	2,766,640	2,766,640
要処理資産	14,620,148	△ 527,250	14,092,898	14,740,550	13,420,100

主要分析比率(%)					
学生生徒等納付金 / 帰属収入	76.56	—	77.15	75.73	75.73
補助金 / 帰属収入	11.65	—	11.35	11.78	11.58
人件費 / 消費支出	56.89	—	56.73	55.40	54.82
教育研究経費 / 消費支出	35.28	—	35.47	36.42	36.97
管理経費 / 消費支出	6.19	—	6.17	6.16	6.21
人件費 / 学生生徒等納付金	72.22	—	69.84	73.06	71.80

(2) 平成23年度教員・職員数一覧表

教員数一覧表

平成23年5月1日現在

所属	職名	平成23年度																
		学 長	教 授	准 教 授	講 師	助 教	科 研 費 特 別 研 究 支 援 員	副 手	学 芸 員	科 長 ・ 園 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	講 師	教 育 補 助 嘱 託	合 計	非 常 勤 講 師	
大 学	学長	1														1		
	法務研究科（法科大学院）		16					4								20		
	法 学 部	法学科		19	3												22	10
		政治学科		18													18	42
		学部 に 所 属 す る 者 計							11								11	
	経 済 学 部	経済学科		18	3												21	32
		経営学科		18	1												19	36
		学部 に 所 属 す る 者 計							12								12	
	文 学 部	哲学科		9	1		2		2								14	30
		史学科		10	1		1		2								14	22
		日本語日本文学科		12			1		3								16	35
		英語英米文化学科		11	1		1		3								16	31
		ドイツ語圏文化学科		5	2		1		2								10	19
		フランス語圏文化学科		7	2		1		2								12	21
		心理学		7	3		2		2								14	23
		教職課程		4					2								6	15
		人文科学研究所							1								1	
		学部 に 所 属 す る 者 計					2		4								6	14
	理 学 部	物理学		6	1	1	8										16	26
		化学		8	1		9										18	14
		数学		9			6										15	7
生命科学			8			6	1									15	13	
学部 に 所 属 す る 者 計					1	30	1									1		
学芸員資格取得																		13
基礎教養																	103	
附 置 機 関	東洋文化研究所			1		2		2								5		
	史料館					1		4								5		
	計算機センター		2	1		6		3								12	8	
	スポーツ・健康科学センター		4	2				2								8	15	
	外国語教育研究センター		10	2				4								16	142	
大学計	1	201	25	1	50	1	61	4							344	671		
女 子 大 学	学長	1														1		
	国際文化交流研究科（大学院）																7	
	交 流 学 部 化	日本文化学科		15	2												17	24
		国際コミュニケーション学科		8	5	3											16	22
		英語コミュニケーション学科		3	2	1											6	2
		共通科目																64
		司書課程		1													1	2
	学部 に 所 属 す る 者 計							13								13		
	機 附 関 置	語学教育センター							1								1	
		環境教育センター																
女子大学計	1	27	9	4			14								55	121		
高 等 科 幼 稚 園	高等科								1	1	29		1		32	44		
	女子高等科								1	1	28	1		1	31	28		
	中等科									1	29		1		31	10		
	女子中等科									1	29		1	2	33	20		
	初等科								1	1	37	1			40	4		
	幼稚園								1		5				6	2		
高等科～幼稚園計								4	5	157	2	3	3	174	108			
総計	2	228	34	5	50	1	75	4	4	5	157	2	3	3	573	900		

(注)・科長、教頭が高等科と中等科を兼務している場合は高等科の欄に、女子高等科と女子中等科を兼務している場合は女子高等科の欄に計上。  
 ・非常勤講師が2以上の学校を兼務している場合は、大学、女子大学、高等科、女子高等科、中等科、女子中等科、初等科の順に初出の欄に計上。  
 ・大学総合基礎科目を基礎教養科目に名称変更

職員数一覧表

平成23年5月1日現在

所属	職名・資格	平成23年度											合計	非常勤職員		
		院長・理事	参与・参事	主事	主事補	書記	司書	技士・技士補	守衛	用務補助	用務	試用者			嘱託（事務・専門）	
役員		4													4	
内部監査室			2	1											3	
教育改革推進募金本部			1	1		1									3	
学習院アーカイブズ			1									1			2	
法人	法人事務局		1												1	
	総合企画部		4		1	5						1			11	
	総務部		4	1	3	4						2			14	1
	人事部		1		1	5									7	
	財務部		3	3	3	3						1			13	
	施設部		2	4	3	4		3	2	3		4			25	
	法人計		15	8	11	21		3	2	3	1	7		71	1	
大学	学長室		4			3	5		2					1	15	15
	経理部		1												1	
	アドミッションセンター		1	2	2	4									9	
	学生センター		3	4	6	7		3				1	3		27	
	キャリアセンター		2	1	2	1							1		7	
	国際交流センター		1			2							1		4	
	図書館		4	4	7		5								20	
	理学部		1		2			1							4	
	東洋文化研究所															
	史料館															
	計算機センター															
	スポーツ・健康科学センター															
	外国語教育研究センター															
心理相談室															5	
	大学計		17	11	22	19	5	6			1	6		87	20	
女子大学	教務部			1	2	1									4	
	学生部		1			1							1		3	
	就職部				1	1									2	
	総務部		2		1	2		1					1		7	
	図書館		1	2	1		2								6	
	語学教育センター															
	環境教育センター															
	留学生センター												2		2	
カウンセリಂಗグループ							1							1		
	女子大学計		4	3	5	5	2	2				4		25		
高等科 幼稚園	高等科		1		1	2		1			1		2		8	1
	女子高等科		1		3	1			1				2		8	1
	中等科			2	2								3		7	
	女子中等科				2	1							1		6	1
	初等科		1	1	2			2	1	1			6		14	
	幼稚園				1			1		1					3	
	高等科～幼稚園計		3	3	11	4	4	2	5			14		46	3	
	総計	4	43	27	49	50	7	15	4	8	3	31		241	24	

(注)・休職者を含む。

・役員のうち、教授職にある者については、教員数一覧表の該当する所属の教授欄に計上。

・大学図書館事務機構改革により、以下を変更。

①法学部・経済学部図書センターを大学図書館に統合。

②理学部に含まれていた理学部図書室を大学図書館に統合。

・学習院アーカイブズを新設。

・職名・資格に試用者を追加。

(3) 平成23年度入学試験結果

①大学(大学院)

下段の数字は内数女子 平成23年5月1日現在

			定員	志願者	合格者	倍率	入学者				定員	志願者	合格者	倍率	入学者																																																															
大学院	法学研究科	博士前期						3	2	1	2.0	1	0	199	211	105	2.1	84																																																												
		博士後期																																																																												
	政治学研究科	博士前期	15	18	12	1.5	11	5	0	0	0.0	0	0	776	514	275	198	2.8	109																																																											
		博士後期																																																																												
	経済学研究科	博士前期	10	8	6	1.3	4	3	0	0	0.0	0	0	230	151	97	67	2.4	37																																																											
		博士後期																																																																												
	経営学研究科	博士前期	10	26	13	2.0	8	3	5	4	1.3	4	2	679	419	190	134	3.6	70																																																											
		博士後期																																																																												
	人文科学研究科	博士前期	118	193	86	2.2	70	27	45	33	1.4	30	16	64	49	14	11	4.6	8																																																											
		博士後期																																																																												
	自然科学研究科	博士前期	51	58	45	1.3	38	12	2	1	2.0	1	0	53	37	14	11	3.8	11																																																											
		博士後期																																																																												
	大学院合計			257	357	201	1.8	167																																																																						
	法務研究科	専門職学位		50	323	109	3.0	49																																																																						
				94	34		18																																																																							
専門職大学院合計			50	323	109	3.0	49																																																																							
学部	法学部	法学科	250	1,738	447	3.9	152	480	3,211	1,059	3.0	542	245	4,310	2,703	1,670	1,149	2.6	780																																																											
		政治学科	230	1,205	372	3.2	152													210	1,792	523	3.4	169	56	12	2	6.0	0																																																	
		一般入試法学部計																																																																												
		外国・海外帰国		21	1	21.0	1																							61	59	1.0	59	22	0	0	0.0	0	0																																							
		自己推薦		13	5	2.6	3																																	12	12	1.0	12	6	12	6	1.0	12																														
		推薦		107	107	1.0	107																																										27	14	1.9	14	8	210	1,904	610	3.1	254																				
		進学		127	127	1.0	127																																																				571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110										
		法学部小計	480	3,211	1,059	3.0	542																																																														0	0	0.0	0	0	0	2,122	15,043	4,862	3.1
	経済学科	250	2,575	610	4.2	195	12	12	1.0	12	6	14	6,055	2,312	2,190	3.1	2,110																																																													
	経営学科	250	2,019	347	5.8	98												27	14	1.9	14	8	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																																			
	一般入試経済学部計	500	4,594	957	4.8	293																						13	8																																																	
	外国・海外帰国		49	17	2.9	9																								571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																							
	推薦		140	140	1.0	140																																		0	0	0.0	0	0	2,122	15,043	4,862	3.1																														
	進学		73	73	1.0	73																																											12	12	1.0	12	6	14	6,055	2,312	2,190	3.1																				
外国人学生		82	26	3.2	19	571																																																					207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110											
経済学部小計	500	4,938	1,213	4.1	534																																																															0	0	0.0	0	0	2,122	15,043	4,862	3.1	2,326	
		30	9		5		571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																																														
																	571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																																				
																											571	207	3.1																																																	254
																														571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																							
																																								571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2																														
																																																	571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																				
						571																																																					207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110											
																																																																				571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110	
							571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																																														
																	571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																																				
																											571	207	3.1																																																	254
																														571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																							
																																								571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2																														
																																																	571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																				
						571																																																					207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110											
																																																																				571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110	
							571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																																														
																	571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																																				
																											571	207	3.1																																																	254
																														571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																							
																																								571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2																														
																																																	571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																				
						571																																																					207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110											
																																																																				571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110	
							571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																																														
																	571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																																				
																											571	207	3.1																																																	254
																														571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																							
																																								571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2																														
																																																	571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																				
						571																																																					207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110											
																																																																				571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110	
							571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																																														
																	571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																																				
																											571	207	3.1																																																	254
																														571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																							
																																								571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2																														
																																																	571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																				
						571																																																					207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110											
																																																																				571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110	
							571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																																														
																	571	207	3.1	254	92	1,815	14,363	4,552	3.2	2,110																																																				
																											571	207	3.1																																																	254

## ■平成23年度の動向解説

(学部)

平成23年度一般入試の志願者総数は13,192名であった。昨年度の13,765名と比べ573名(4.2%)減少したが、ほぼ横ばいといってよい結果である。事前に行われた大手予備校などの模擬試験の動向からは、志願者数は15%程度減少すると予想されていた。しかし、実際はその予想を覆す結果となった。

今春の入試では全国的に国公立・理系志向が見られ、私立の難関大学の志願者数は、文系学部を中心に平均して数%程度の減少傾向にあったようであるが、本学も最終的には平均的な値に落ち着くこととなった。

こうした結果となったのは、学長室とアドミッションセンターが年末年始に行った「直前広報」が功を奏したためといえるかもしれない。山手線・中央線・総武線等の車内広告、大手予備校受験情報サイトや受験実績の高い高校の最寄り駅への広告などを試みた。例年を大きく上回る規模での入試広報の展開が、志願者数減少に歯どめをかけたのではないかと考えられる。

一方、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、入試関係者にとっても衝撃的なできごとであった。被災者に配慮し、入学手続期間の延長、入学手続時納付金の減免等の特別措置を講じるとともに、あらためて入試時の危機管理体制の見直しを求められることになった。

今年度は東日本大震災の影響による電力事情に鑑み、オープンキャンパスが例年より日程を早め、7月24日・25日、10月22日に開催される。そこでは、本学オープンキャンパスの特色である「全学部・全学科」の模擬講義や説明会、個別相談ブースが設けられる。さらに、在学生によるキャンパスツアーや相談コーナーなども行われる予定である。

## ②女子大学(大学院)

平成23年5月1日現在

				募集人員	志願者	合格者	倍率	入学者	
大学院	国際文化交流研究科	修士課程	一般入試	10	13	8	1.6	8	
		大学院合計		10	13	8	1.6	8	
学部	国際文化交流学部	日本文化学科	一般入試A	60	547	226	2.4	81	
			一般入試B	20	360	33	10.9	27	
			外国人留学生	10	11	9	1.2	6	
			海外帰国生徒	若干名	13	7	1.9	3	
			社会人	若干名	1	1	1.0	1	
			推薦入試A	40	37	37	1.0	37	
			推薦入試B	10	12	10	1.2	10	
			進学	若干名	2	2	1.0	2	
		日本文化学科小計			140	983	325	3.0	167
		国際コミュニケーション学科	一般入試A	70	929	325	2.9	93	
			一般入試B	30	504	52	9.7	44	
			外国人留学生	10	20	10	2.0	6	
			海外帰国生徒	若干名	11	6	1.8	3	
			社会人	若干名	1	1	1.0	1	
			推薦入試A	50	49	49	1.0	49	
			推薦入試B	10	17	9	1.9	9	
		進学	若干名	1	1	1.0	1		
		国際コミュニケーション学科小計			170	1,532	453	3.4	206
		英語コミュニケーション学科	一般入試A	30	237	103	2.3	33	
			一般入試B	10	101	27	3.7	22	
推薦入試A	5		0	0	-	0			
AO	若干名		9	7	1.3	2			
進学			若干名	0	0	-	0		
英語コミュニケーション学科小計			45	347	137	2.5	57		
学部合計			355	2,862	915	3.1	430		
合計			365	2,875	923	3.1	438		

## ■平成23年度入試についての動向解説

平成23年度入試における志願者状況は、一般入試A方式で前年度比277人増の1,713人、B方式で前年度比234人増の965人となり、一般入試全体では2,678人(前年度比511人増)であった。この結果、平成22年度の志願者減少分(527人)を、今年度511人増によって完全に取り返し、近年で最高の志願者数を記録した平成20年度、21年度の水準にもどった。

また、開学以来の推移から見ても平年並み以上の結果であり、例えば、A方式では、平成20年度以降、乱高下はあったも

の(20年度と21年度で1,900人台に上昇、平成22年度に1,400人に下落)、平成19年度入試まで安定的に推移していた志願者数1,700人台を維持し、B方式では、近年700人台で推移してきた志願者が今年度は900人台と増加した。

昨今の景況感が不振の中で、受験生の併願校数の減少傾向を考えるならば、今年度の志願者数の増加や近年の志願者数の安定は、良好かつ今後にも希望が持てる結果と評することができる。平成23年度入試における志願者増の可能性は、平成22年秋の時点で予備校の分析・予測にも示されており、昨年度の志願者数の減少が大きかったことを考えれば、数字そのものについては決して特異な結果ではない。しかしながら、志願者の質的面では、明らかに向上傾向が示されているからである。同時期に示された予備校の模擬試験の分析結果では、本学志願者のうちに占める成績上位者の数が増えており、本学の偏差値の上昇が見込まれていた。すなわち、志願者数の増加は単に例年並みに戻ったということの意味するのではなく、志願者層の質が良い意味で入れ替わっている可能性を示しているということである。

実際の結果については、今後の予備校等による分析を待たなくてはならないが、ここ数年来の偏差値評価の上昇傾向を考え合わせるならば、本学に対する期待が高まっていることは間違いない。また、同じく予備校の調査によれば、本学志願者の併願校は必ずしも女子大学に限定されておらず、成蹊大学、法政大学、明治大学、立教大学、明治学院大学、獨協大学、青山学院大学等々の国際文化、国際関係の学部が上位に挙げられていたことが注目される。すなわち、本学志願者は、本学を、女子大であるか否かに関係なく、「国際文化交流」を学ぶ場として評価・選択しており、このことも本学が安定した志願者数を維持している一つの理由ではないかと考えられる。

このことは、合格者の入学手続き状況が、年ごとに変動はあるものの、明らかな上昇傾向を示していることから裏付けられる点である。

### ③高等科

平成23年5月1日現在

		定員	募集人数	志願者	合格者	倍率	入学者
高等科	一般入試		約10	47	13	2.0	10
	進学		-	191	191	-	191
高等科合計		200	200	238	204	-	201

#### ■平成23年度入試についての動向解説

平成21年度に高等科入試が、2月14日の1日のみ、約10名募集という形態に戻って、3年目となった。

学内外での入試相談会では、これまで同様、受験生とその父母に、高等科入試が決して「狭き門」ではないことを理解いただくことに努めることとなったが、中には、学習院高等科が入試を行っていることをその場で初めて知る方、また、学習院に対して謂れのないいきいの高さを感じている方も複数あった。中3以前から高等科入試に関心を持って何度も相談会のブースに足を運んでいただく固定層が確かに存在していることを実感すると同時に、新たな志願者層を開拓していくためにどのような広報活動を行うべきなのか、考えさせられる。

出願は初日こそ6件と出足がよいように思われたが、その後は終始昨年度の半分のペースで最終日まで伸び悩み、結果として47名が出願した。入試当日の受験者数が危惧されたが、38名と出席率は非常に高かった(81%)。昨今の景気の動向からも、記念受験的な出願がほとんどなくなっていることが分かる。昨年はほぼ同じ状況で、84名出願、56名受験(出席率67%)であったわけだが、これは2回入試から1回入試へと変更した一昨年に敬遠され、59名出願、46名受験(出席率78%)、正規合格12名、補欠3名という結果に終わったことを受けての反動があったと考えられる。2011年入試については逆に昨年の出願者数がブレーキになった点は否めないが、それが来年度の出願者数増に反映するものでは決してない。既に今回の受験者には、入試に向けてどこの塾・予備校で勉強してきたか、を尋ねる新たなアンケートを行っているが、こうしたデータも活かしつつ、来年度の受験者数を確実に増やすために何をこれからなすべきかを考えることが急務である。

正規合格者13名、補欠合格者6名を発表し、入学手続き者は7名。そのうち2名が辞退した。補欠6名全員を結果として繰り上げ、高等科入学者は10名で最終的に確定した。

今年度の入試結果、そして入学者の今後も見据えつつ、受験生とその家庭に対して、高等科が持つ魅力・可能性を伝え、理解してもらう工夫に一層努力していかなければならない。

#### ④中等科

平成23年5月1日現在

			定員	募集人数	志願者	合格者	倍率	入学者
中等科	一般入試	第1回		約65名	350	158	2.2	76
		第2回		約60名	432	84	5.1	58
	海外帰国子弟			約15名	74	35	2.1	14
	進学			55				55
中等科合計					856	277		203

#### ■平成23年度入試についての動向解説

##### □一般入試

初等科からの進学者は昨年度とほぼ変わらず55名であり、帰国入試での入学者を募集人数程度と考え、およそ130名を2月の一般入試で確保するという方針でのぞんだ。二回入試体制にして7回目であるが、こうした入試改革の動きから年数が経つにつれ志願者数が減ってきていた流れと、昨年度以来の経済情勢悪化の影響や、公立六年一貫校の増加といった首都圏の受験状況に鑑みて、さらに受験者数が減少するのではと懸念されるところであった。最終的に、昨年度の809名に対し両日の志願者数の合計は782名となり、約3%減となった。昨年度は41名という多数の補欠を出し、結果的にはその中から2名のみ入学を許可した点を反省し、本年度はなるべく補欠の数を絞って発表する意図を持って合格者数を決定した。2月2日の第一回目入試では、昨年に引き続き第二回入試よりは多くの入学者を確保するという観点から、昨年とほぼ同数の合格者を発表した。昨年度の入学率が44%と低かったことから、さらに入学率が低下するようであれば2月3日入試で多くの合格者を出さざるを得なくなり、偏差値もその分だけ下降することが懸念されたが、併願校の状況から昨年よりは入学率が上がり、70名以上の入学者を確保できる見通しを立てた。(実際の入学者は76名で、入学率48%) 2月3日入試に関しては、附属校を希望する受験層がやや増えたが、併願状況は例年と大きな変化はなく手続き状況も歩留まりも、ほぼ予測通りとなった。補欠は、23名発表するところとなり、11番まで繰り上げた。(なお、新入生父母保証人会の当日に辞退届が一通提出され、4月の入学式までに同様のケースがあることを慮れ、目標入学者数を201名から急遽203名に変更した。)

本年度の入試の残した大きな課題であるが、2月2日入試の実質倍率が2倍を切ってしまったことが挙げられる。(298名受験、158名合格) 同じ入試が6年前は5倍を超える倍率であったことを勘案すると、非常事態とも言える。ただ、結果偏差値は四谷大塚の資料によれば2月2日、2月3日も昨年と全く同様の57であったので、ある程度絞られた層が受験していることが分かる。

##### □帰国入試

志願者数は微減であった。海外の滞在国の分布ならびに、日本人学校出身と現地校(インターナショナル校を含む)出身の割合等も特に大きな変化はなかったが、帰国直前に日本人学校に入学するというケースが年々増えている。受験勉強をしっかりとやって受験するという傾向が一層顕著となり、上位合格者のほとんどが2月の一般入試で他校に合格を果し、中等科への入学を断念するケースが見られた。海外への塾の進出が進み、受験対策を練って試験に臨むのが一般的になっており、特徴のある生徒を選抜するという目的に照らして、どのような選抜方法が望ましいか根本的な見直しが必要であろう。

#### ⑤女子中等科

平成23年5月1日現在

			定員	募集人数	志願者	合格者	倍率	入学者
女子中等科	一般入試	A入試	200	約90	259	105	2.5	96
		B入試		約35	403	53	7.6	42
	海外帰国生			約15	69	25	2.8	10
	進学							62
女子中等科合計			200					210

注：女子高等科は平成11年度から募集停止

## ■ 平成23年度入試についての動向解説

### □一般入試について

今年度の受験生は、4年生のときに、いわゆるリーマンショックの経済的影響があった学年である。そのような状況の中で私学の「中学受験」を選択した児童あるいはその家庭は、学校選択に関しても特に慎重に臨んでいるといわれている。

本校の場合は、受験者数は前年並み(微減)である。受験者の層は、ここ数年顕著であった塾の進路指導による「輪切り」が、今年も一層進んだと考えられる。以前は、本校受験者の上位は非常に優秀で、他校を志望すれば、殆どの学校に合格できる受験生であったが、年々、そのような上位の受験生の数が少なくなっている。

また、本校の受験生の中に存在した上位グループと下位グループの差が少なくなった。以前は総合点の度数分布で10点刻みの横軸スケールでもはっきりわかった2ヤマ分布が、今年度は5点刻み程度のスケールにしないと浮かび上がらなくなった。

A B両入試の複数回入試を開始して2011年度で7回目になる。「本校第1志望のA入試、上位校との併願のB入試」という大まかな構図は変わっていないが、直近の2年は合格者の入学率(歩留まり)が上昇している。これは、併願校の減少や早い段階で進学先を決定したいといった受験生側の要因や他校の入学試験日程の変更といった外因もあるが、本校を理解してくれた上での上昇であればありがたい。入学後の成績を見るとB入試合格者がA入試合格者より多少上位に位置している。今後、成績・進路さらに生活面においても追跡調査し、募集数や両入試の在り方を検討する必要がある。受験生、保護者、塾関係者に本校の実際の姿(細かな学習指導、活発な課外活動、卒業生の進路等)を継続的にアピールしていくことが必要である。また、原点に立ち返り、授業などの「教育力」のさらなる向上を目指したい。

### □帰国生入試について

2009年度から英語の試験を導入し、2011年度で3回目になる。英語を選択した受験生は毎年20名前後であるが、入学者は2～5名である。毎年のごとくであるが、70名前後の出願者に対して、欠席者が25名前後である。また、ここ数年定員を確保できていない。15名の募集数に対して、2011年は補欠合格の5名を全員繰り上げて入学者は10名であった(定員確保のために合格者数を増やすことが考えられるが、受験生の質を検討した結果、できる状況ではないと判断した)。

辞退者の入学先は慶應系を除くと大学受験校がほとんどである。英語試験の導入の効果や合格者選抜方法について検討をし、抜本的な見直しを急ぎたい。

## ⑥初等科

下段の数字は内数女子 平成23年5月1日現在

		定員	募集人数	志願者	合格者	倍率	入学者
初等科	一般入試	80	80	614	112	5.5	80
		40	40	340	52	6.5	42
	進学	52	52	51	51	1.0	50
		26	26	26	26	1.0	26
初等科合計		132	132	665	163	4.0	130
		66	66	366	78	4.7	68

## ■平成23年度の動向解説

学校説明会や入試説明会の入場者数減少、一般入試の応募者数の減少。

これらの要因としては、児童数の少子化、景気の低迷、教育の多様化、報道機関の影響などの背景が考えられる。

小学校受験を控えている保護者が、私立小学校に求めるものとして、つぎのようなことが考えられる。

- ①独自の指導と確実な学力向上 ②親身な指導と的確な対応 ③恵まれた学習環境と充実した施設や設備 ④上級系列校への進学 ⑤有名中学への合格実績 ⑥おちついた交友関係と協調性 ⑦資質の向上と人格形成 ⑧優れた資質を備えた教員 ⑨通学アクセスのよさと安全な登下校 ⑩学校の世間の評価

学習院初等科を知っていただく広報活動も大切であるが、日常の教育活動がいかに大切であるか、ということが再確認される。

## ⑦幼稚園

下段の数字は内数女子 平成 23 年 5 月 1 日現在

		定 員	募 集 人 数	志 願 者	合 格 者	倍 率	入 学 者
幼 稚 園	一 般 入 試	52	52	193	53	3.6	52
		26	26	96	27	3.6	26

### ■平成23年度の動向解説

少子化傾向、昨今の経済状況の悪化、保育者の生活スタイルの変化により、保育園等、長時間保育の志向が高まってきているという現状がある。こうした社会状況の変化の中で、費用のかかる私立は敬遠される傾向にあり、全体的に私立幼稚園を志願する割合は減少している。学習院幼稚園もその傾向にあるが、都内の幼稚園の中では志願者が多いといえる。しかし、志願者が年々減少傾向にあるのは懸念される。単なる志願者の増加よりも、真に学習院幼稚園の教育を望む志願者が更に増え、適度な倍率（3～5倍）が保たれるのが望ましいと考える。

23年度の志願者は193名（男子97名、女子96名）で昨年度より（男子－8名、女子－35名、合計－43名）大幅に減少した。男子はほぼ例年並みと言えるが、女子がかなり減少した。志願者の男女差がなくなってきたとも言えるが、女子が減少することで男女差が縮まることは、歓迎すべきこととは言えない。女子がかなり減少したことの原因として、競合する女子の幼稚園の納付金が学習院幼稚園より低いことと、昨今の週刊誌報道やインターネット投稿等で、志願者父母が共学に不安を感じていることも推察される。今後とも、動向を参考にしながら検討したい。

志願者父母の傾向としては、学習院出身者や兄弟姉妹が在籍している学習院ファミリーの志願者が依然として多く、加えて、学習院の校風に惹かれ幼少期からその教育を希望する志願者、さらに、学習院にこだわらないが良い教育をしている学校（幼稚園～大学までの一貫校）ならば入園させたいと考えている層がある。親が学習院幼稚園卒業生の場合、自分と同じ幼稚園時代を過ごさせたい、という希望が年々多くなってきている。また、全体の志願者は減少しているが、学習院幼稚園にねらいを定めて志願する層が減少しているとは思われない。どの志願者も二年間の幼稚園の教育のみを基準として出願しているのではなく、一貫校としての学習院の教育を見据えて志願していると言える。

(4) 平成23年度学生・生徒・児童・園児在籍者数一覧表

平成23年5月1日現在

学校区分等	年次等	1年次			2年次			3年次			4年次			5年次			6年次			合計				
		人数	男	女	人数	男	女	人数	男	女	人数	男	女	人数	男	女	人数	男	女	人数	男	女		
大 学	博士前期課程	政治学	政治学専攻	11	5	6	13	6	7												24	11	13	
		経済学	経済学専攻	4	4	0	6	3	3													10	7	3
		経営学	経営学専攻	8	6	2	12	8	4													20	14	6
		人文科学	哲学専攻	7	7	0	3	3	0													10	10	0
			美術史学専攻	13	2	11	19	5	14													32	7	25
			史学専攻	12	6	6	12	10	2													24	16	8
			日本語日本文学専攻	13	2	11	11	0	11													24	2	22
			英語英米文学専攻 (イギリス文学専攻)	5	3	2	5	2	3													10	5	5
			ドイツ語ドイツ文学専攻 (ドイツ文学専攻)	1	0	1	4	2	2													5	2	3
			フランス文学専攻	2	0	2	5	3	2													7	3	4
			心理学専攻	1	1	0	1	0	1													2	1	1
			アーカイブズ学専攻	4	2	2	8	6	2													12	8	4
			身体表象文化学専攻	7	3	4	14	7	7													21	10	11
		臨床心理学専攻	10	3	7	14	4	10													24	7	17	
		自然科学	物理学専攻	11	8	3	17	14	3													28	22	6
化学専攻	18		16	2	22	14	8													40	30	10		
数学専攻	4		3	1	7	5	2													11	8	3		
生命科学専攻	5		5	0	15	9	6													20	14	6		
計	136	76	60	188	101	87													324	177	147			
大 学	博士後期課程	法学	法学専攻	1	1	0	1	1	0	1	0	1									3	2	1	
		政治学	政治学専攻	0	0	0	1	1	0	3	0	3									4	1	3	
		経済学	経済学専攻	0	0	0	0	0	0	1	0	1									1	0	1	
		経営学	経営学専攻	4	1	3	1	1	0	9	6	3									14	8	6	
		哲学専攻	1	1	0	2	1	1	3	2	1										6	4	2	
		人文科学	美術史学専攻	5	1	4	0	0	0	2	0	2										7	1	6
			史学専攻	5	5	0	2	2	0	12	8	4										19	15	4
			日本語日本文学専攻	3	1	2	1	0	1	12	2	10										16	3	13
			英語英米文学専攻 (イギリス文学専攻)	2	1	1	3	1	2	6	3	3										11	5	6
			ドイツ語ドイツ文学専攻 (ドイツ文学専攻)	0	0	0	0	0	0	2	0	2										2	0	2
			フランス文学専攻	0	0	0	2	1	1	3	1	2										5	2	3
			心理学専攻	8	2	6	4	2	2	5	1	4										17	5	12
			アーカイブズ学専攻	3	1	2	5	0	5	1	0	1										9	1	8
			身体表象文化学専攻	3	2	1	3	3	0	7	3	4										13	8	5
			物理学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0										0	0	0
自然科学	化学専攻	1	1	0	1	1	0	3	1	2										5	3	2		
	数学専攻	0	0	0	1	1	0	1	1	0										2	2	0		
	生命科学専攻	0	0	0	1	1	0	0	0	0										1	1	0		
	計	36	17	19	28	16	12	71	28	43										135	61	74		
大学院合計	172	93	79	216	117	99	71	28	43										459	238	221			
専門職 大学院	法務研究科	19	8	11	64	44	20	38	25	13										121	77	44		
	計	19	8	11	64	44	20	38	25	13										121	77	44		
大 学	法学部	法学	政治学科	273	147	126	239	128	111	255	146	109	313	185	128						1,080	606	474	
		政治学科	269	150	119	256	137	119	248	132	116	264	148	116							1,037	567	470	
		計	542	297	245	495	265	230	503	278	225	577	333	244						2,117	1,173	944		
		経済学	経済学科	264	190	74	274	188	86	282	188	94	326	226	100							1,146	792	354
			経営学科	271	130	141	277	161	116	283	149	134	295	177	118							1,126	617	509
			計	535	320	215	551	349	202	565	337	228	621	403	218						2,272	1,409	863	
			哲学	125	47	78	101	30	71	96	33	63	123	47	76							445	157	288
			史学	100	36	64	91	35	56	95	37	58	124	62	62							410	170	240
		文学部	日本語日本文学科	147	43	104	112	31	81	132	29	103	160	50	110							551	153	398
			英語英米文学科 (英米文学科)	127	24	103	128	24	104	113	25	88	161	35	126							529	108	421
			ドイツ語圏文化学科 (ドイツ文学科)	60	16	44	68	14	54	45	9	36	63	19	44							236	58	178
			フランス語圏文化学科 (フランス文学科)	115	23	92	88	13	75	81	15	66	107	22	85							391	73	318
			心理学	106	32	74	108	36	72	87	33	54	101	27	74							402	128	274
		計	780	221	559	696	183	513	649	181	468	839	262	577							2,964	847	2,117	
		理学部	物理学	60	50	10	59	48	11	66	54	12	51	47	4							236	199	37
化学	56		37	19	60	41	19	52	31	21	59	38	21							227	147	80		
数学	82		59	23	69	45	24	71	52	19	71	50	21							293	206	87		
生命科学	77		35	42	52	24	28	46	22	24										175	81	94		
計	275		181	94	240	158	82	235	159	76	181	135	46							931	633	298		
大学合計	2,132	1,019	1,113	1,982	955	1,027	1,952	955	997	2,218	1,133	1,085							8,284	4,062	4,222			
女子大学 大学院	修士課程	国際文化交流研究科	9		9	15		15												24		24		
	計	9		9	15		15													24		24		
女子大学	国際文化交流学部	日本文化学科	167		167	177		177	175		175	183		183						702		702		
		国際コミュニケーション学科	206		206	204		204	223		223	239		239						872		872		
		国際コミュニケーション学科	57		57	38		38	44		44	28		28						167		167		
		女子大学合計	430		430	419		419	442		442	450		450						1,741		1,741		
高等 女子	高等科	女子	214	214		179	179		202	202										595	595			
		女子	202		202	198		198		198										598		598		
		女子	203	203		204	204		192	192										599	599			
		女子	210		210	208		208	201		201									619		619		
		幼稚園	130	62	68	129	65	64	128	64	64	122	64	58	125	62	63	126	62	64	760	379	381	
合計	52	26	26	51	26	25													103	52	51			
合計	3,773	1,625	2,148	3,665	1,590	2,075	3,424	1,466	1,958	2,790	1,197	1,593	125	62	63	126	62	64	13,903	6,002	7,901			

(5) 国際交流協定校

平成 23 年 9 月 1 日現在

学校別	国名	協定校
大 学	中国	北京大学
		復旦大学
	韓国	啓明大学校
		慶北大学校
	タイ	Chulalongkorn University
	オーストラリア	Australian National University
		University of New South Wales
	ニュージーランド	Victoria University of Wellington
	アメリカ	University of North Carolina at Charlotte
		Rice University
		Tulane University
	カナダ	Queen's University
	イギリス	London School of Economics and Political Science (University of London)
		University of York
		University of Sussex
		University of Edinburgh
		Lancaster University
		University of Reading
		University of East Anglia
	イタリア	Oxford Brookes University
		University of Naples-L'Orientale
	ドイツ	University of Bologna
		University of Mannheim
アイスランド	University of Bayreuth	
	University of Iceland	
フランス	University of Paris Ouest-Nanterre La Défense	
	University Lumière Lyon 2	
女子大学	韓国	Sungshin Women's University
	ラオス	National University of Laos
	オーストラリア	University of Melbourne
		Deakin University
	アメリカ	Scripps College
		Missouri Southern State University
	カナダ	University of Northern British Columbia
	イギリス	University of Leeds
	ドイツ	Ludwig-Maximilian-University of Munich
	ポーランド	University of Hamburg
		University of Warsaw
	ルーマニア	University of Bucharest
	エストニア	Tallinn University
チェコ	Palacky University Olomouc	
高等科	アメリカ	St. Paul's School
女子中・高等科	オーストラリア	Methodist Ladies' College

## 5. 歴代院長・各学校長

平成23年9月1日現在

学習院歴代院長			院長事務取扱		
初	代	立花種恭	明治10.10.17	~	明治17.5.24
2	代	谷干城	明治17.5.24	~	明治18.12.22
院長事務代行		木村弦雄	明治18.12.22	~	明治19.2.9
院長心得		谷干城	明治19.2.9	~	明治19.4.10
3	代	大鳥圭介	明治19.4.10	~	明治21.7.13
御用掛(院長代理)		谷干城	明治21.7.13	~	明治21.11.5
4	代	三浦梧樓	明治21.11.5	~	明治25.3.26
5	代	岩倉具定	明治25.3.26	~	明治25.10.20
6	代	田中光顯	明治25.10.20	~	明治28.3.19
7	代	近衛篤磨	明治28.3.19	~	明治37.1.2
院長代理		細川潤次郎	明治32.3.27	~	明治32.11.25
院長代理		細川潤次郎	明治36.9.18	~	明治37.1.3
院長心得		細川潤次郎	明治37.1.4	~	明治37.8.4
8	代	菊池大麓	明治37.8.4	~	明治38.10.12
事務取扱		山口銳之助	明治38.10.12	~	明治39.1.18
9	代	山口銳之助	明治39.1.18	~	明治40.1.31
10	代	乃木希典	明治40.1.31	~	大正元.9.13
院長事務取扱		白鳥庫吉	大正元.9.16	~	大正元.11.25
11	代	大迫尚敏	大正元.11.25	~	大正6.8.25
12	代	北条時敬	大正6.8.25	~	大正9.4.5
13	代	井上勝之助	大正9.4.5	~	大正9.5.29
14	代	一戸兵衛	大正9.5.29	~	大正11.11.3
院長代理		福原鎌二郎	大正11.11.3	~	昭和4.10.28
15	代	松浦寅三郎	昭和4.9.3	~	昭和4.10.28
16	代	荒木寅三郎	昭和4.10.28	~	昭和12.4.6
院長事務取扱		野村吉三郎	昭和12.4.6	~	昭和14.9.25
17	代	武者小路公共	昭和14.9.25	~	昭和14.10.7
18	代	山梨勝之進	昭和14.10.7	~	昭和21.10.5
院長事務取扱		松平康昌	昭和21.10.5	~	昭和21.10.18
19	代	安倍能成	昭和21.10.18	~	昭和22.3.31
20	代	安倍能成	昭和22.3.31	~	昭和41.6.7
21	代	麻生磯次	昭和41.6.27	~	昭和45.8.31
22	代	櫻井和市	昭和45.9.1	~	昭和56.8.13
23	代	磯部忠正	昭和56.8.14	~	昭和62.8.13
24	代	内藤頼博	昭和62.8.14	~	平成5.8.13
25	代	島津久厚	平成5.8.14	~	平成14.8.13
院長代行		田島義博	平成14.8.14	~	平成18.3.28
26	代	内藤政武	平成18.3.28	~	平成18.5.31
27	代	波多野敬雄	平成18.6.1	~	平成26.9.30

歴代大学長					
初	代	安倍能成	昭和24.4.1	~	昭和38.3.31
2	代	麻生磯次	昭和38.4.1	~	昭和44.3.31
3	代	近藤正夫	昭和44.4.1	~	昭和48.3.31
4	代	児玉幸多	昭和48.4.1	~	昭和54.3.31
5	代	磯部忠正	昭和54.4.1	~	昭和56.8.17
学長代行		安田元久	昭和56.8.18	~	昭和56.11.10
6	代	安田元久	昭和56.11.11	~	昭和60.11.10
7	代	木下是雄	昭和60.11.11	~	平成元.11.10
8	代	早川東三	平成元.11.11	~	平成7.11.10
9	代	小倉芳彦	平成7.11.11	~	平成13.11.10
10	代	永田良昭	平成13.11.11	~	平成19.11.10
11	代	福井憲彦	平成19.11.11	~	平成24.3.31

歴代女子大学長					
初	代	近藤不二	平成10.4.1	~	平成10.9.30
学長代行		工藤幹巳	平成10.10.1	~	平成10.10.21
2	代	早川東三	平成10.10.22	~	平成15.3.31
3	代	波多野敬雄	平成15.4.1	~	平成18.5.31
学長代行		阿部誠	平成18.6.1	~	平成18.7.17
4	代	永井和子	平成18.7.18	~	平成23.3.31
5	代	石澤靖治	平成23.4.1	~	平成27.3.31

歴代女子短期大学長					
初	代	小宮豊隆	昭和25.3.31	~	昭和32.3.31
2	代	安倍能成	昭和32.4.1	~	昭和41.3.31
3	代	日高第四郎	昭和41.4.1	~	昭和45.3.31
4	代	児玉幸多	昭和45.4.1	~	昭和48.3.31
5	代	磯部忠正	昭和48.4.1	~	昭和54.3.31
6	代	近藤不二	昭和54.4.1	~	昭和60.3.31
7	代	小倉芳彦	昭和60.4.1	~	平成3.3.31
8	代	近藤不二	平成3.4.1	~	平成10.9.30
学長代行		工藤幹巳	平成10.10.1	~	平成10.10.21
9	代	早川東三	平成10.10.22	~	平成13.5.28

歴代高等科長					
初	代	神田乃武	明治35.12.25	~	明治37.8.30
2	代	白鳥庫吉	明治37.8.30	~	明治38.2.6
3	代	飯塚啓	大正8.4.7	~	大正10.4.6
4	代	瀬川秀雄	大正10.4.6	~	大正10.12.23
5	代	岡田正之	大正10.12.23	~	大正15.9.1
6	代	紀平正美	大正15.9.1	~	昭和7.8.23
7	代	野村行一	昭和7.8.23	~	昭和19.9.12
8	代	長沢英一郎	昭和19.9.12	~	昭和22.3.31
9	代	櫻井和市	昭和22.3.31	~	昭和25.3.31
10	代	鍋島能弘	昭和23.3.31	~	昭和27.4.1
11	代	戸沢富寿	昭和27.4.1	~	昭和31.8.31
12	代	磯部忠正	昭和31.9.1	~	昭和35.3.31
13	代	浅沼早苗	昭和35.4.1	~	昭和46.6.30
14	代	貝原友次郎	昭和46.7.1	~	昭和54.3.31
15	代	浅野長愛	昭和54.4.1	~	昭和61.3.31
16	代	河野政治	昭和61.4.1	~	昭和62.3.31
17	代	田中政次	昭和62.4.1	~	平成2.3.31
18	代	越中稜	平成2.4.1	~	平成6.8.31
19	代	小坂部元秀	平成6.9.1	~	平成9.3.31
20	代	従野明宏	平成9.4.1	~	平成14.3.31
21	代	千葉糺	平成14.4.1	~	平成19.3.31
22	代	北島秀明	平成19.4.1	~	平成22.3.31
23	代	林知宏	平成22.4.1	~	平成25.3.31

歴代女子高等科長					
初	代	金子彦二郎	昭和22.3.31	~	昭和24.3.31
2	代	古賀軍治	昭和24.3.31	~	昭和32.3.31
3	代	堀部健一	昭和32.4.1	~	昭和41.3.31
4	代	伊藤博	昭和41.4.1	~	昭和52.3.31
5	代	代是永仲一	昭和52.4.1	~	昭和54.3.31
6	代	田口庸一	昭和54.4.1	~	昭和57.3.31
7	代	伊藤哲司	昭和57.4.1	~	昭和62.3.31
8	代	山浦雅之	昭和62.4.1	~	平成4.3.31
9	代	関川浩一	平成4.4.1	~	平成7.3.31
10	代	塚田久幾	平成7.4.1	~	平成12.3.31
11	代	寺田勝彦	平成12.4.1	~	平成15.3.31
12	代	稲田和子	平成15.4.1	~	平成20.3.31
13	代	加川紀代子	平成20.4.1	~	平成25.3.31

注：明治38年2月から大正8年3月まで職員分掌服務規程の全面改訂で科長が廃止された。大正8年4月より科長が復活した。

歴代中等科長			
初	代	神田 乃武	明治35. 12. 25～明治38. 2. 6
2	代	南日 恒太郎	大正 8. 4. 7～大正 9. 4. 13
3	代	熊本 謙二郎	大正 9. 4. 13～大正 9. 6. 29
4	代	瀬川 秀雄	大正 9. 6. 29～大正10. 4. 6
5	代	飯島 忠夫	大正10. 4. 6～昭和 6. 3. 31
6	代	次田 潤	昭和 6. 3. 31～昭和 7. 8. 31
7	代	藤沢 周次	昭和 7. 8. 31～昭和10. 4. 5
8	代	小林 盈一	昭和10. 4. 5～昭和10. 10. 3
9	代	関口 雷三	昭和10. 10. 3～昭和19. 1. 10
10	代	長沢 英一郎	昭和19. 1. 10～昭和19. 9. 12
11	代	岩田 九郎	昭和19. 9. 12～昭和22. 3. 31
12	代	不破 武夫	昭和22. 3. 31～昭和22. 12. 27
代	理	児玉 幸多	昭和22. 11. 5～昭和23. 3. 31
13	代	児玉 幸多	昭和23. 3. 31～昭和27. 4. 1
14	代	猿木 恭経	昭和27. 4. 1～昭和33. 3. 31
15	代	橋本 与平	昭和33. 4. 1～昭和36. 3. 31
16	代	浅沼 早苗	昭和36. 4. 1～昭和41. 3. 31
17	代	稲沢 正一	昭和41. 4. 1～昭和47. 3. 31
18	代	猿木 恭経	昭和47. 4. 1～昭和51. 3. 31
19	代	貝原 友次郎	昭和51. 4. 1～昭和54. 3. 31
20	代	浅野 長愛	昭和54. 4. 1～平成 2. 3. 31
21	代	大野 延胤	平成 2. 4. 1～平成 7. 3. 31
22	代	小坂 部元秀	平成 7. 4. 1～平成 9. 3. 31
23	代	従野 明宏	平成 9. 4. 1～平成14. 3. 31
24	代	千葉 紘	平成14. 4. 1～平成19. 3. 31
25	代	北島 秀明	平成19. 4. 1～平成22. 3. 31
26	代	林 知宏	平成22. 4. 1～平成25. 3. 31

注：明治38年2月から大正8年3月まで職員分掌服務規程の全面改正で科長が廃止された。大正8年4月より科長が復活した。

歴代幼稚園長			
初	代	安倍 能成	昭和38. 4. 1～昭和41. 6. 7
事務	取	高木 良子	昭和41. 6. 8～昭和41. 6. 30
2	代	麻生 磯次	昭和41. 7. 1～昭和45. 8. 31
3	代	高木 良子	昭和45. 9. 1～昭和62. 3. 31
4	代	小野田 三男	昭和62. 4. 1～平成 5. 3. 31
園	長	代行 高川 進作	平成 5. 4. 1～平成 6. 6. 30
5	代	島津 久厚	平成 5. 11. 1～平成 6. 6. 30
6	代	高川 進作	平成 6. 7. 1～平成13. 3. 31
7	代	小山 久子	平成13. 4. 1～平成20. 3. 31
8	代	桑田 幸子	平成20. 4. 1～平成24. 3. 31

華族女学校長			
初	代	谷 干城	明治18. 9. 14～明治18. 12. 22
校長	事務	代行 下田 歌子	明治18. 12. 22～明治20. 4. 22
2	代	大鳥 圭介	明治20. 4. 22～明治21. 7. 13
3	代	西村 茂樹	明治21. 7. 13～明治26. 11. 25
4	代	細川 潤次郎	明治26. 11. 25～明治39. 4. 9

学習院女学部長			
初	代	下田 歌子	明治39. 4. 11～明治40. 11. 28
2	代	松本源太郎	明治40. 11. 28～大正 7. 9. 5

女子学習院長			
初	代	大島 義脩	大正 7. 9. 6～大正12. 8. 29
2	代	松浦 寅三郎	大正12. 8. 29～昭和 7. 8. 4
3	代	長屋 順耳	昭和 7. 8. 4～昭和15. 5. 29
4	代	芝田 徹心	昭和15. 5. 29～昭和20. 1. 25
5	代	下村 寿一	昭和20. 1. 25～昭和21. 12. 24
6	代	安倍 能成	昭和21. 12. 24～昭和22. 3. 31

歴代女子中等科長			
初	代	土手 重雄	昭和22. 3. 31～昭和25. 3. 31
2	代	鈴木 謙一郎	昭和25. 3. 31～昭和34. 3. 31
3	代	堀部 健一	昭和34. 4. 1～昭和41. 3. 31
4	代	伊藤 博	昭和41. 4. 1～昭和52. 3. 31
5	代	是永 伸一	昭和52. 4. 1～昭和54. 3. 31
6	代	田口 庸一	昭和54. 4. 1～昭和57. 3. 31
7	代	伊藤 哲司	昭和57. 4. 1～昭和62. 3. 31
8	代	山浦 雅之	昭和62. 4. 1～平成 4. 3. 31
9	代	関川 浩一	平成 4. 4. 1～平成 7. 3. 31
10	代	塚田 久幾	平成 7. 4. 1～平成12. 3. 31
11	代	寺田 勝彦	平成12. 4. 1～平成15. 3. 31
12	代	稲田 和子	平成15. 4. 1～平成20. 3. 31
13	代	加川 紀代子	平成20. 4. 1～平成25. 3. 31

歴代初等科長			
監督	初	代 坂 彪太郎	明治31. 11. 11～明治34. 12. 25
監督	2	代 川島 庄一郎	明治35. 1. 8～明治35. 12. 18
科	長	川島 庄一郎	明治35. 12. 25～明治36. 10. 31
科	長	心得 石井 国次	明治36. 10. 31～明治38. 2. 6
主任	3	代 石井 国次	明治38. 2. 6～大正 8. 4. 6
科	長	石井 国次	大正 8. 4. 7～大正 9. 7. 16
4	代	上村 晋	大正 9. 7. 16～大正10. 9. 1
5	代	石井 国次	大正10. 9. 1～昭和11. 2. 4
6	代	宮本 主税	昭和11. 2. 4～昭和11. 4. 5
科	長	心得 川本 為次郎	昭和11. 4. 6～昭和11. 9. 22
7	代	川本 為次郎	昭和11. 9. 22～昭和21. 3. 31
8	代	秋山 幹	昭和21. 4. 1～昭和22. 3. 31
9	代	秋山 幹	昭和22. 3. 31～昭和32. 3. 31
10	代	杉山 勝栄	昭和32. 4. 1～昭和48. 3. 31
11	代	大橋 武男	昭和48. 4. 1～昭和51. 3. 31
12	代	小俣 万次郎	昭和51. 4. 1～昭和54. 3. 31
13	代	福田 正一郎	昭和54. 4. 1～昭和56. 3. 31
14	代	近田 廣司	昭和56. 4. 1～昭和58. 3. 31
15	代	山口 正重	昭和58. 4. 1～昭和59. 3. 31
16	代	小野田 三男	昭和59. 4. 1～平成 2. 3. 31
17	代	西村 知	平成 2. 4. 1～平成 7. 3. 31
18	代	川嶋 優	平成 7. 4. 1～平成10. 3. 31
19	代	高橋 義雄	平成10. 4. 1～平成13. 3. 31
20	代	斉藤 進	平成13. 4. 1～平成18. 3. 31
21	代	中島 平三	平成18. 4. 1～平成21. 3. 31
22	代	三浦 芳雄	平成21. 4. 1～平成24. 3. 31

注：①科長は明治35年12月以降の呼称で、その前は監督と称した。  
②明治38年は職員分掌服務規程で全面改正で、科長が廃止され、初等学科では科長に代わる主任が置かれた。  
大正8年4月より科長が復活した。